

平成28年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市港南台地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ・当ケアプラザの担当エリアの人口は平成28年3月31日現在28,946人(男性13,942人、女性15,004人)。人口推移は平成11年頃より減少傾向にありますが、65歳以上は7,993人と前年度より308人(3.8%)増になっており高齢化率は前年度26.3%から27.3%(1%増)になっています。
- ・高齢者世帯数は夫婦のみ1,392世帯、単独1,154世帯であり、要介護、要支援の認定者数は1,172人(14.5%)です。
- ・認知症の方も増えていますが、元気な高齢者も多く、老後の生活についての関心や意識も高く、心身の健康維持や老化予防として、各種運動活動や仲間づくりへの参加も多くみられます。
- ・昭和50年頃の開発当初から生活されている方の大半が70歳以上になるなか、
 - ①一人暮らしの高齢者の緊急時の対応
 - ②老老介護の介護力不足
 - ③認知症への地域(家族含む)の理解不足
 - ④エレベーターのない集合住宅や、坂が多いことから高齢者の外出困難
 - ⑤巨大なUR賃貸住宅での転出入も多く、地域の住民同士の交流が少ない
 - ⑥地域福祉に係るボランティアの高齢化の課題が見られます。
- ・また、港南台には様々な障がい者支援関連施設や特別支援学校があり、さらに平成28年には重度心身障がい者施設が開所します。社会に参加しやすい環境づくり、仕組みづくりが求められています。
- ・高齢者、障がい者、子育てなど幅広い層への支援が必要であるとともに、住民同士のつながりやお互いの顔が見え気軽に声掛けができる関係作り、ボランティアの掘り起し、育成、ネットワーク化も必要となっています。

地域包括ケアシステムの構築を目指し、重点目標は下記のとおりです。

- 地域の事業団体と連携しウォーキングなどの取組を推進
- 認知症予防・認知症サポーター養成講座や認知症家族への支援
- 地域資源の情報の把握と整理
- ボランティアの発掘・育成・交流とネットワーク化の仕組みづくり
- 地域防災拠点と連携した特別避難場所の開設訓練の実施
- 障がいのある方が地域で安心して元気に暮らせるための取り組み
- 地域の社会資源の整理と活用のため、地域活動マップや福祉施設マップの作成

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・施設の保守業務、清掃業務、環境管理業務については、当施設を含むビル全体の施設保守業務を行っている会社に委託し、施設の定期点検並びに適切な維持管理を行っていきます。
- ・20年を経過した施設、建物の維持管理には、年数経過による故障も予測されます。日常の管理を通して不都合の早期発見に努め、適切・迅速に対応していきます。
- ・委託会社の清掃の他にクリーンスタッフが清掃を行い、清潔な状態で利用していただけるよう心掛けています。毎朝、職員が施設内の巡回を行い、安全に事業が行えるようチェックし、外回り清掃についても委託会社が行うほかに職員も行っています。

イ 効率的な運営への取組について

- ・介護保険の適切な請求による収入の確保、経費節減の徹底による支出の抑制を基本的な取り組み姿勢として、事業計画に沿った適正な予算執行を行います。
- ・法人の所長会で情報共有や同じ課題の検討を行ない、業務の見直しや推進に努めます。また、ケアプラザの4部門、各専門職間でそれぞれの特性を活かした連携が取れるように、適宜会議の開催により意見調整を行い効率的な施設運営に心がけます。

ウ 苦情受付体制について

- ・ケアプラザ利用に際して、ご意見や苦情などについては、いつでも気兼ねなくお話し頂けるよう「苦情受付責任者・苦情受付担当者」を選任し来館時に目に見える場所に掲示、またサービス提供時での文章等での説明をきちんと行います。
- ・「苦情」については、法人の「苦情解決規定」に沿って対応いたします。
- ・施設内入口に「意見箱」を設置、また「ご意見ダイヤル」の案内を掲示し、いつでもどなたでもご意見を受け付けられるようにし、利用者の声を施設運営に反映させていきます。また「第三者委員会」を開催して、指導・助言をいただき、問題解決に反映する取組みを行います。
- ・毎年実施している利用者アンケートや通所介護での嗜好調査を行い、結果を施設内に掲示、プラザ便りやデイ新聞等で公表するとともに、振り返り・改善を図っていきます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ビル管理会社及び警備会社に委託し異常時に即刻対応できるようにします。
- ・防犯対策として、済生会横浜市南部病院の警備部門と連携し、定期巡回等、状況に応じた対策を講じていきます。
- ・消防法に基づく自主防災訓練及び自主消防訓練、ビル管理会社や済生会横浜市南部病院が行う防災訓練に参加し、職員の意識向上に努めます。また、港南台第二小学校地域防災拠点と連携し、地域の防災訓練にも積極的に参加します。
- ・地震発生時、速やかに施設の点検・確認、区への報告を行い、横浜市と締結している「特別避難場所」の開設に向けてマニュアルに基づき行動します。また、災害時に各職員と連絡が途絶えないように様々な手段での緊急連絡網の整備を検討し、迅速、確実、安全な対応が取れる体制づくりに努めます。
- ・AEDが施設内に設置してあり、利用者の急病発生時には迅速に対応いたします。また、全職員を対象にAED研修を実施します。
- ・施設利用者が感染症を疑うような状態が生じた場合に、すぐに対応できるよう常に感染症対応グッズを用意、職員へも毎年研修を行っています。また、手洗いの必要性や方法について館内に掲示しています。
- ・その他、緊急時対応のマニュアルは適時見直し、実情に沿った改善を図ります。

オ 事故防止への取組について

- ・事故防止のためヒヤリハット事例などリスクマネジメントについて、ミーティング、諸会議や研修等で逐次職員に周知し、常に事故防止の意識を高めます。
- ・ヒヤリハット事例については、事故防止対策委員会、職員会議において、その原因と今後の対応策などについて検討し、その結果を速やかに周知することにより職員の共通認識と注意喚起を促し、事故防止に取り組んでいきます。
- ・「事故防止・発生時対応マニュアル」で明確にしているように「事故報告（第一報）の電話連絡経路」「港南台地域ケアプラザ利用者救急対応フロー図」を常に確認できるよう事務所やデイルーム内に掲示しています。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報保護について、全職員に対しては個人情報保護に関する研修を年2回実施し、その重要性を周知徹底するとともに、横浜市個人情報保護条例を遵守、退職後も同様とする旨の周知を行ってまいります。
- ・年度初めの研修終了後、個人情報保護の重要性を職員に意識づけするため、「個人情報保護に関する誓約書」の提出、「地域ケアプラザ個人情報漏えい防止チェックシート」を実施します。
- ・利用者、実習生、ボランティアからも、契約時に個人情報の保護に関する誓約書や同意書を得るなど徹底を図ってまいります。

キ 情報公開への取組について

- ・ 情報発信の重要なツールであるケアプラザ広報紙「プラザ便り」「デイ新聞」を毎月発刊します。地域の多くの皆様に読んでいただけるよう、内容や表示等更に工夫改善を図ります。
- ・ 配布については、より広く周知できるよう自治会での回覧、民生委員・児童委員協議会の定例会での情報提供の他、施設内外での事業開催時に、積極的に広報していきます。
- ・ 介護サービス情報公表制度の活用や、同一法人の済生会横浜市南部病院のホームページに併設している当プラザのホームページを活用して、地域の方に情報を公開していきます。
- ・ 施設内においても、利用者等に施設の年度計画や実績等自由に閲覧できるよう公開していきます。

ク 人権啓発への取組について

- ・ ケアプラザ本来の業務に高齢者をはじめとする虐待防止や権利擁護の取り組みが求められているところであり、これら取り組みの推進はもとより、人権を尊重する社会を目指す種々の取り組みに積極的に関わり、高齢・障害・職業・性別などに基づく差別や虐待などの解消に努めます。職場研修では「気づき」を中心とした人権研修を年1回開催します。また法人主催のハラスメント研修への参加をはじめ、日常的な場で「互いの違いを認め合う風土づくり」を進めます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 施設内の節水、節電により一層努めるとともに、冷暖房温度の設定にも十分配慮した対応を行い、環境にやさしい施設運営を心掛けます。
- ・ ごみの減量化については、分別によるリサイクル化の継続的な取り組みを推進していきます。
- ・ インクカートリッジの回収ボックスを設置して、地域の方にも協力をお願いしていきます。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

・保健師	常勤	1名
・主任ケアマネジャー	常勤	1名
・社会福祉士	常勤	2名
・介護支援専門員	非常勤（兼務）	1名

《目標》

- ・介護予防プラン作成にあたり、到達可能な目標設定を行うことで、利用者本人が少しでも前向きになれるよう、また生活の中で身体機能の維持につながることを具体策として計画の中に盛り込んでいきます。また、プラン1枚で利用者の生活状況が把握できるように、介護保険外の活動内容を具体策として組み入れていきます。
- ・専門職としての知識を活用できるように積極的に担当者会議に出席し、利用者の状況にあった支援が出来るよう、情報提供していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張がある場合には、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・委託先のケアマネジャーに対して、より良いケアマネジメントが実施できるよう予防プランの相談など個別支援を実施していきます。
- ・地域のサロン、体操教室などの情報も収集し、委託先のケアマネジャーに情報提供していきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
217	212	224	236	227	234
10月	11月	12月	1月	2月	3月
229	232	235	233	235	233

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 介護支援専門員（管理者） 常勤 1名
- ・ 介護支援専門員 常勤 2名
- ・ 介護支援専門員 非常勤（兼務） 1名

《目標》

介護保険サービスだけでなく、地域資源（インフォーマルサービス）をケアプランに組み入れ活用し必要な支援を提案していきます。引き続き「災害緊急ケースファイル」の更新に努め、緊急時や災害時の際にも、適切な支援をスムーズにつなげることが出来るようにしていきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス実施地域を超える地域に訪問・出張がある場合は、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザ内にある居宅介護支援事業所であり、地域の関係者や民生委員と顔の見える関係が作りやすく、包括支援センターや区役所と連携を図れることにより、地域で安心して暮らせる支援体制ができています。

指定管理者を受託している居宅介護支援事業所としての役割を地域へ広報し、支援体制を強化することで、地域住民の皆様が心身ともに健やかに安心できる生活が実現するように、地域・医療・福祉の連携に努めます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
82	85	88	91	94	97
10月	11月	12月	1月	2月	3月
100	103	106	109	112	115

● 通所介護事業

《職員体制》

・ 管理者	常勤（兼任）	1名
・ 看護師	非常勤（兼任）	5名
・ 機能訓練指導員	非常勤（兼任）	5名
・ 生活相談員	常勤	2名
・ 生活相談員	非常勤（兼任）	1名
・ 介護員	常勤	1名
・ 介護員	非常勤	15名
	（内1名生活相談員兼任）	

《提供するサービス内容》

- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

①基本料金（一日）

	1割負担	2割負担
要介護1	704円	1407円
要介護2	831円	1662円
要介護3	963円	1926円
要介護4	1095円	2189円
要介護5	1227円	2453円

②加算（一日）

サービス体制強化加算 I 1

	1割負担	2割負担
サービス体制強化加算 I 1	20円	39円

③入浴加算（一回）

	1割負担	2割負担
入浴介助加算	54円	108円

④食費（一食・おやつ代も含む）

御食事代（実費）	700円
----------	------

☆別途、介護職員処遇改善加算が加わります。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《目標》

- ・ サービスの質の向上
レクリエーション・行事の充実を図ります。又設備の点検整備や修繕を行い、過ごしやすい環境をつくります。
- ・ 職員の能力の向上
定期的な勉強会の開催を行い、介護技術等のスキルアップを図ります。
外部研修への参加を積極的に行い、伝達研修により情報の共有化を図ります。
- ・ 利用者一日17名の確保
新規利用者の確保・定着に努めます。又、臨時利用（スポット利用）の対応も積極的に行います。

居宅介護支援事業所へ空き状況等のお知らせを定期的に配布し、PR活動を行います。

さまざまなニーズに応えられる様、個別対応も検討していきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・定期的な研修により、スタッフのスキルアップを行い専門的なケアを提供していきます。
- ・昼食について、利用者アンケートを活用し、毎月の給食会議にて話し合いを行い、利用者の満足度を高めていきます。

《利用者目標（延べ人数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
510	527	510	527	527	510
10月	11月	12月	1月	2月	3月
527	510	476	476	476	527

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

● 介護予防通所介護事業

《職員体制》	・ 管理者	常勤（兼任）	1名
	・ 看護師	非常勤（兼任）	5名
	・ 機能訓練指導員	非常勤（兼任）	5名
	・ 生活相談員	常勤	2名
	・ 生活相談員	非常勤（兼任）	1名
	・ 介護員	常勤	1名
	・ 介護員	非常勤	15名
			（内1名生活相談員兼任）

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護
- 日常生活支援総合事業
- 介護予防・日常生活支援総合事業選択サービス
（運動器機能向上・口腔器機能向上）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

① 基本料金（月額）

	1割負担	2割負担
要支援1	1766円	3531円
要支援2（週1回程度）	1766円	3531円
要支援2（週2回程度）	3621円	7241円

② 加算（月額）

	1割負担	2割負担
サービス体制強化加算 （要支援1）	78円	155円
サービス体制強化加算 （要支援2 週1回程度）	78円	155円
サービス体制強化加算 （要支援2 週2回程度）	155円	309円
運動器機能向上加算	242円	483円
口腔機能向上加算	161円	322円

④ 食費（一食・おやつ代も含む）

御食事代（実費）	700円
----------	------

☆別途、介護職員処遇改善加算が加わります。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《目標》

- ・ 運動器機能向上と口腔器機能向上については、現在利用されている方や見学で来所された方等にその目的や効果を説明し、より多くの方に参加していただけるよう努めます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 済生会横浜市南部病院の理学療法士と歯科衛生士に機能向上のためのプログラムの作成を依頼して、毎月の評価を行います。又、3ヶ月に一度、プログラムの見直し

を行います。

プログラムの内容は家でも気軽に無理なく一人で出来る運動でわかりやすく指導します。またサービス利用日は個別にボール運動・自転車漕ぎ・歩行練習・ゴムバンド運動等のプログラムもを行います。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10	10	10	10	10	10
10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	10	10	10	10	10

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・地域の社会資源の発掘及び活用方法の検討や課題解決に取り組みます。
- ・地域の子育て、障がい者、高齢者の状況を幅広く把握します。
- ・事業や講座、ケアプラザイベントの開催などを通じて、地域の情報収集及び提供、地域の身近な相談窓口としての機能を積極的に周知していきます。
- ・ウォーキングポイントのリーダー周辺におすすめ事業のチラシや広報誌を置き手に取ってもらいやすい環境を作ります。
- ・地域のこどもが気軽に来所できる施設の環境づくりに努めます。
- ・ギャラリースペースを活用した、地域住民や福祉施設等の参加型の展示会や作品展を開催します。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・港南区社会福祉協議会と地域包括支援センター、生活支援・地域活動交流が協働して、地域の方々と「住民支え合いマップ活動」について、地域包括ケアの推進に取り組んでいきます。
- ・インフォーマルサービスの聞き取り調査を地域包括支援センターと生活支援・地域活動交流部門とで行い、自治会館の活用や担い手発掘の活動に繋がります。
- ・地域包括支援センターと地域活動交流が協働して、地域資源を活用した健康づくりの推進に努め「うたカフェ」を開催していきます。
- ・中学生を対象とした「認知症サポーター養成講座」を開催し、次世代ボランティア（担い手）の育成を図ります。

3 職員体制・育成

- ・事業ごとに必要な、資格要件を満たした職員を人員配置に従って適正に配置します。
- ・全職員に管理者と面接する機会を設け、個々の能力に応じた人材育成に取り組みます。
- ・研修について年間計画を作成し、受講できるようにします。
- ・研修受講者の研修報告書の提出、回覧、施設内での伝達研修などを実施し、職員のレベルアップを図るように努めます。
- ・自己啓発等に取り組みやすい職場の環境づくりに努めます。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・第3期港南区地域福祉保健計画の円滑な推進に向けて支援チーム一丸となって、地域住民が主体的に策定に取り組めるよう支援します。
- ・第3期港南台地域福祉保健計画の推進に向けて、「港南台支えあいネットワーク推進委員会」での話し合いが円滑かつ活発に進行するよう、事務局として支援します。また検討事項や事業の報告を、広報紙を通じて広く地域の方々に周知します。
- ・地域の資源を共有把握し、地域情報シート及び地域資源リストの作成と協議体の開催に努めます。

生活支援・地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・各種団体の定例会や地域行事に積極的に参加し、地域の情報収集を行ない、必要な情報提供ができるよう、情報の整理に努めます。
- ・事業の告知や報告、地域の福祉保健活動団体の紹介、地域行事等を掲載する広報誌「プラザ便り」を毎月発行します。また、広報紙の周知について工夫します。
- ・地域防災拠点（港南台第二小学校エリア）の定例会に参加して、地域防災拠点との連携強化に努めます。
- ・利用者アンケートや日頃からのコミュニケーションを通して、地域や利用者ニーズの情報収集に努めます。
- ・生活支援体制整備事業における生活支援サービスの提供体制の構築に向けて、区社協、区内9地域ケアプラザで課題や取り組みについて、情報共有及び連携・協働による体制整備に努めます。
- ・地域住民への情報提供と高齢・障がい者関連施設のネットワーク推進に向けて、「福祉施設マップ」を作成します。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ボランティアと利用団体の合同交流会を継続し、福祉保健活動への理解を深めていただきます。
- ・趣味などのグループとも積極的に関係性を深め、作品展示やボランティアのお誘いなどの働きかけを行います。
- ・広報紙等で地域の活動団体を紹介するとともに、貸館利用率の向上を目指します。

3 自主企画事業

- ・発災などの緊急時に住民同士の助け合いに繋がるよう「防災を考える会」を済生会横浜市南部病院災害担当医師や災害対策担当、消防署等の協力を得て開催します。
- ・介護保険制度改正に伴い、サロン作りを進めていくことが求められていくと考えます。当ケアプラザの高齢者サロン「みち草」でも、参加者の増加が見込まれていくため、運営ボランティアの発掘、育成を進めていき、各地域の特性に沿った形で高齢者サロンやミニデイサービスが開催できるよう、地域住民と協働して取り組みます。
- ・地域の自然保護を推進する認定 NPO 法人団体と協働し、地域への愛着が深まるよう「パネル展」や「次世代へつなぐ自然講座」の開催に努めます。
- ・障がい者余暇支援として取り組んでいる「青年学級ないとくるーず」は、参加者の主体性を尊重した年間プログラムに沿って開催しています。今年度も歌の練習を参加者全員で行い、発表会を開催するなど目標を持って仲間意識を高めていきます。
- ・子どもの孤食、食の貧困化を抱える子ども及び世帯の発掘に努め、地域の支援団体と協働して「こども食堂」を開催します。仲間づくりや居場所づくり、多世代が交流し自然と助けあえる拠点づくりに努めます。
- ・地域で暮らす外国籍、外国文化の相違による生活支援や子育て支援の負担を軽減できるよう、人材の発掘及びネットワーク組織の構築に努めます。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・「ないとするーず」及び「こども食堂」の事業では地域住民や地域に通う学生のボランティアが積極的に活動できるよう、多世代が生き生きと交流できる拠点づくりと居場所、仲間づくりとしての側面が発揮されるよう支援します。
- ・セカンドライフ大学校分校事業でもある、料理・パン教室の参加者にはサロンやミニデイサービス、ケアプラザイベント等でボランティア活動が円滑に取り組めるよう調整等行います。
- ・よこはまシニアボランティア登録研修会の開催を行います。デイサービスや済生会横浜市南部病院のボランティア希望者も多く、情報提供を行います。
- ・近隣の保育園、幼稚園との交流会や小中学校の福祉体験、高等特別支援学校の社会交流を受け入れます。社会交流や高齢者とのふれあいの場として、総合学習（職業体験）を積極的に受け入れます。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・相談内容に応じ、行政や医療機関等の専門機関、制度、各種事業につなげます。つなげる資源がない場合には新たな事業を立ち上げるなどの対応をします。また、必要に応じ継続的に支援をしていきます。
- ・相談内容を分析しながら地域に適した事業を展開し地域で支えられるようなネットワーク構築を生活支援・地域交流活動とともに目指していきます。
- ・地域の相談会や会合等にも積極的に参加をしていきます。
- ・相談窓口の周知を図ります。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・既に行った地域活動のアンケート調査の情報を基に社会資源マップの作成を検討します。また、地域住民に対し、医療制度や介護保険サービス、社会福祉協議会の役割等について、出張講座や相談会の際に情報提供していきます。
- ・独居高齢者や高齢者世帯が他の地域に比べて多いUR団地のひとつに焦点を絞り、自治会、民生委員、区福祉保健センター（高齢障害・事業企画・こども家庭支援）、区社会福祉協議会、生活支援・地域活動交流、包括支援センターで定期的に話し合いを開催してきました。今年度も話し合いを継続し、URとも連携した事業開催を計画していきます。
- ・地域包括支援センターへの理解が深まるよう、地域の会合等への出席や関係機関等への訪問等を通じて、周知をしていきます。
- ・自治会・町内会への出張講座を通し、自治会活動の活性化や、住民同士の自主活動のきっかけ作りを目指します。

実態把握

- ・ケアプラザで開催している介護予防や高齢者サロン等の参加者のニーズ等を生活支援・地域活動交流部門と情報共有を図ることにより、実態把握を行います。
- ・窓口での相談のみならず、来館が難しい方や、見守りの必要のある方に対しては、必要に応じ訪問し、実態把握に努めるとともに、支援が必要な方に対しては、関係機関と連携しながら対応をします。
- ・施設内のミニディサービスや地域で行われている体操教室、出前講座などの場で、地域の方々がどのようなことに困っていたり、心配ごとを抱えていたりするのか、また、どのような要望があるのかアンケートを実施し、今後の事業展開に活かします。

2 権利擁護

権利擁護

- ・ 成年後見制度において、特に血縁関係の無い方、関わりの薄い方に対し、任意後見制度の利用に向けた支援を行います。
- ・ 財産や権利侵害に対し、法定後見の申立てに向けた支援を行います。
- ・ 4親等内の申立人不在等については、区長申し立てに向けてつなぎます。
- ・ 親族申し立てについて、実務レベルの支援を行います。
- ・ 親族等の候補者不在時には、被後見人等にあった第三者後見人等の情報提供を行います。
- ・ 法テラスと連携して相談会を実施し専門的な相談にも対応していきます。
- ・ 港南区内地域包括支援センターの社会福祉士分科会や港南区成年後見サポートネットに出席し、事例などを共有することで、関係機関との連携に努めていき、支援に活かしていきます。

高齢者虐待

- ・ 虐待疑いケースを含め、通報や相談につないでいただくために広報や啓発を行います。
- ・ 虐待に関し相談を受けた場合、速やかに区役所に報告し、区役所と今後の方向性について確認し、適切に対応していきます。
- ・ 早期発見や予防、防止に向けた啓発を様々なシーンにおいて行います。
- ・ 介護者のつどいや認知症家族のつどいを定期開催し、介護者が孤立しない働きかけを通じて介護者等による虐待の防止を図ります。
- ・ 虐待について研修を港南区役所などと協力しながら行い、高齢者虐待予防の啓発とスキルアップに努めます。
- ・ 区の社会福祉士分科会においてケアマネジャーやデイサービスの職員を対象とした研修会を開催し早期発見、防止に向けて取り組んでいきます。

認知症

- ・ 認知症について正しく理解することを目的として、認知症サポーター養成講座を地域の認知症キャラバンメイトやボランティアの方と協力して開催し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。
- ・ 講座は大人のみならず、若い世代（小中学生）も対象とし、認知症についての理解を図っていきます。
- ・ 認知症サポーターが地域で活動を行うための支援をします。
- ・ 「認知症 家族のつどい」や「介護者のつどい」を定期開催し、介護者が孤立しない働きかけをしていきます。介護経験者やボランティアの方々に協力して頂き、会が活性化するよう努めます。
- ・ 介護者や地域住民の方を対象に、認知症についての講演会を開催し、認知症の理解と対応の仕方についての啓発を行います。
- ・ 「こんな時にご連絡ください」チラシを医療機関や商業施設、コンビニなどや高齢者が集まりそうなところに配布して認知症の方の早期発見支援をしていきます。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・地域のケアマネジャーにはプランのコメントの際、利用者の状況がプラン一つで把握できるよう、介護保険外サービスを始め、趣味の活動などもプランに盛り込むように伝えていきます。
- ・プランの書き方に悩むケアマネジャー向けには個別に相談や支援を継続していきま
す。また、必要なインフォーマルサービスはチラシがあればチラシを同封して、な
ければ情報をメモにしてケアマネジャーへ提供し、本人に必要な活動を案内してい
きます。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・昨年度完成したケアマネジャー向け港南台地域の地域活動情報一覧を、主に区内の
事業所に配布し、ケアプランにインフォーマルサービスも含める視点を持ってもら
えるよう声かけを行っていきます。
- ・地域のケアマネジャーと民生委員の顔の見える関係作りのため、懇談会を開催しま
す。
- ・見守りネットワークの機能を持つ地域のシルバー会等の集まりに積極的に顔を出し
少しの変化でも相談してもらいやすい関係作りをしていきます。
- ・「港南区民生委員・ケアマネジャー連絡票」について、集まっている連絡票の状況確
認を行い、終了者（施設入所・死亡など）の連絡票の回収等を行います。
- ・地域住民と医療・介護者をつなぐカフェスタイルの意見交換の場を、地域のクリニ
ック等と共催で企画します。

医療・介護の連携推進支援

- ・「医福ネット港南」の世話人を継続し、年3回の勉強会を開催します。医療・介護分
野のより多職種との連携に力を入れた研修内容にしていきます。
- ・エリア内の在宅医療専門クリニックにて、医師や看護師、エリア内のケアマネジャ
ー、訪問看護ステーション等の事業所が2ヶ月に一度集まり、自由に意見を言い合
える場「語る会」の継続をオブザーバーとして支援していきます。
- ・「港南区医療機関情報冊子」について、新規開設の居宅介護支援事業所に渡す他、勉
強会の席で再周知し、医療とのスムーズな連携を目指します。
- ・医療機関への個別訪問を継続し、地域包括支援センターの役割のPRや情報交換を
行っていきます。
- ・エリア内の薬局への個別訪問を計画します。

ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーや専門職向けに、同法人の南部病院と共催で研修を企画します。
- ・独居高齢者のケースを中心に、緊急時の対応方法や連絡先についての情報取得を支
援し、必要に応じて成年後見制度等の制度利用へつないでいきます。
- ・ケアマネジャーが「地域で暮らす」ことの意味を考え、地域ぐるみで対象者を支援
していけるよう、主任ケアマネ分科会、区社会福祉協議会と共催の研修（通称「夢
研修」）を継続していきます。
- ・ケアマネジメント講座として、家族支援をテーマとした研修を、主任ケアマネ分科
会で開催します。
- ・主任ケアマネジャー分科会共催で、「ケアマネサロン」を港南台ケアプラザ（奇数月）

と港南中央ケアプラザ（偶数月）を会場に継続します。

- ・ 自主勉強会支援として、区内の主任ケアマネジャー（9名）が輪番で自主勉強会に出席します。
- ・ 自主勉強会支援の一環として、自主勉強会グループの情報交換会を主任ケアマネ分科会で開催を企画します。
- ・ 新任ケアマネジャー向けの施設見学会（3日間）と、ケアマネジメント初級講座（5日間）を例年と同様に継続して開催します。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・ ハイリスクエリアを優先に、地域課題の抽出と対応策の検討を目的とした個別ケース地域ケア会議の開催を企画します。その際、より多くの職種の専門的視点から検討できるよう、医療機関や薬局、消防等との連携を強化していきます。

介護予防事業

介護予防事業

- ・ 昨年実施した3Aの要素を含んだボランティア育成講座が大好評に終わり、参加できなかった方を対象に再度、講座を実施します。
- ・ 3Aという新たなレクリエーションの手法を学ぶことで参加者が増え、グループの存続支援にもつなげます。
- ・ JAの健康相談会では相談者の内容に合った講座や教室の案内をし、閉じこもりや寝たきりにならないように情報提供しています。
- ・ 「おーいらくかい！」は今年度、更に自分たちの会としての認識が出てきています。有志での活動や、散策の帰りに近くの施設見学会を計画したり少しずつですが、意識変化が見られています。そのモチベーションが維持できるように引き続き後方支援をしていきます。

その他

生活支援体制整備事業

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- ・ 既に行った自治会、地域活動団体へのアンケートから、各団体への聞き取り調査を行い、地域資源の把握、及び情報リストの作成に向けて取り組んでいきます。
- ・ 既に様々な情報や人脈を持つタウンカフェとの協働について検討を進めます。
- ・ 様々な統計資料や街歩きなどから得た情報から、地域アセスメントを行います。

圏域レベルの協議体の設置・開催

- ・ 横浜市・区と連携して、協議体の設置について検討のうえ、地域等と調整します。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

- ・ 毎年実施している支え合いネットワークの拡大定例会やふれあいデーの場を利用し、支援者や住民同士の意見交換を行います。また、その結果で港南台としての取組み事項を設定します。
- ・ タウンカフェと協働で住民対象としたワークショップ等を開催し、住民目線での地域課題の抽出を行っていきます。

具体的な取組事項への着手

- ・ 把握した地域の現状と資源について、関係者間で共有し、地域活動の充実に向けた支援に取り組んでいきます。

平成28年度 地域ケアプラザ収支予算書(モデル)

施設名: 横浜市港南台地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	生活支援
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	17,312	29,048	151					5,789
	介護保険収入				13,405	22,144	55,701	5,257	
	その他								
	認定調査					474			
	その他							60	
	収入合計(A)	17,312	29,048	151	13,405	22,618		61,018	5,789
支出	人件費	11,143	24,177		974	19,514		41,696	5,480
	事務費	2,674	3,407			1,919		6,650	
	事業費	3,495	1,464	151		925		10,586	309
	管理費								
	その他								
	介護保険作成委託料				12,431				
	その他					260		730	
	支出合計(B)	17,312	29,048	151	13,405	22,618		59,662	5,789
収支 (A) - (B)		0	0	0	0	0	0	1,356	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
みち草	高齢者	50,000	20,000	30,000		10,000	40,000
	1回35人						
	100円						
音楽のひろば	高齢者	30,000	30,000				30,000
	40人						
オーシャン	障がい児	30,000	30,000			20,000	10,000
	1回5人						
プラスアルファ	障がい児	30,000	30,000			20,000	10,000
	1回20人						
ぴよんぴよん	未就学児と保護者	40,000	40,000				40,000
	1回20組						
すずめ学級	1歳児と保護者	77,000	77,000			72,000	5,000
	25組						
子育てまち育て塾「ひろば」	未就学児と保護者	10,000	10,000				10,000
	1回10人						
タッチケア講習会	3～12ヶ月児と保護者	10,000	10,000				10,000
	1回15組						
男性の料理教室	団塊の世代	60,000		60,000		60,000	
	1回10人						
	1,000円						
チャレンジ☆男性のパン作り	団塊の世代	30,000		30,000		30,000	
	1回10人						
	500円						
支えあいネットワーク	地域住民	20,000					20,000
	1回20人						
健康教室	地域住民など	50,000	50,000				50,000
	1回50人						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業計画書

横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みち草	<p><目的> 地域の高齢者の外出の機会を作り、閉じこもり防止、友達作り、日常生活動作の維持を目指します。</p> <p><内容> 特に目的がなくても気軽に立ち寄り、集まった人同士でお話をしたり、お茶を飲んだり、レクリエーションなど、好きな事をして過ごします。</p>	<p>毎月第1火曜日 (8月はお休み)</p> <p>11回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽のひろば	<p><目的> 音楽を通じて地域の高齢者の外出の機会を作り、孤独防止、友達づくり、日常生活動作の維持を目的とします。</p> <p><内容> 音楽療法に有効な楽器(トーンチャイム、打楽器など)と手法を用い、治療を目的とするのではなく、音楽療法の効果を維持し、誰もが楽しく気軽に参加できる地域の交流の場です。</p>	<p>毎月第3火曜日 (8月はお休み)</p> <p>11回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぺんぺん草の会	<p><目的> 家族に自由な時間が持て、高齢者と家族が地域内で心安らかに暮らすことができることが目標です。</p> <p><内容> 認知症及び虚弱高齢者を対象に、デイサービス(送迎・食事・レクリエーション)を行います。</p>	<p>毎月第1・2・3木曜日</p> <p>36回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
霜月の会	<p><目的> 高齢者が健康で安心して暮らすことのできる町を目指しています。高齢者の安否確認を行います。</p> <p><内容> 一人暮らし、虚弱高齢者を対象に、毎月一回配色サービスを行います。</p>	<p>毎月1回不定期</p> <p>12回実施予定</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
青年学級 ないと・くるーず	<p><目的> 知的障がい者の余暇支援事業です。 ①様々な活動(余暇活動)を通じて生活の幅を広げます。 ②社会参加の促進を図ります。 ③広域の友達作り(他施設、地域住民等)が目的です。</p> <p><内容> 障がいのあるなしに関わらず、お互いができる所を助けあい、楽しいひと時を過ごします。集まった仲間と夕ごはんを一緒に食べることも楽しみのひとつです。</p>	<p>毎月第3金曜日 (8月を除く)</p> <p>11回実施予定</p>

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
発達相談Kamaー p o	<p><目的> 乳幼児期の発達に遅れや偏りのみられる障がい児とその親からの相談を受け、ポータープログラムによる個別指導等を行います。</p> <p><内容> 障がい児を持つ親の不安や悩みなどの相談を通じて、地域の中で孤立しないようにするとともに、ポータープログラムの個別指導を行います。</p>	<p>毎月第2水曜・土曜日</p> <p>36回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ポコ・ア・ポコ	<p><目的> 音楽を使ったポーター障がい児教育を健常児と交流をしながら行い、障がい児の早期教育の一貫を担うとともに、地域の社会参加のきっかけ作りを目指します。</p> <p><内容> ヤマハ音楽教室 システム講師 野島先生による音楽を使ってリズム運動、ミュージカル指導、テーマに沿って作品を作りながら障がい児と健常児の交流を楽しみます。</p>	<p>毎月第2・4金曜日</p> <p>24回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
O c e a n	<p><目的> 小学校在学中は、放課後の居場所として「はまっこ」がありますが、中学生になると、部活動や塾などが放課後の居場所となることが多く、どこか行く場所はないかといった相談が何件も寄せられました。</p> <p>①障がいのある中学生・高校生のための放課後の居場所作り。 ②一人で過ごすことのできる余暇スキルを獲得していく。 ③高校生は職業体験の場としても提供する。</p> <p><内容> 障害者自立支援法の余暇支援を利用し、介助ヘルパーを確保することで、子ども達の安全を確保し、子ども達の放課後の居場所作りを行います。</p>	<p>毎週水曜日</p> <p>51回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
+α(プラスアルファ)	<p><目的> 地域で暮らす障害のある方及び保護者を対象にした居場所づくり、仲間づくりに努めます。</p> <p><内容> 地域で暮らす障がい児の保護者を対象にした勉強会を実施します。</p>	<p>4か月に1回実施予定</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ぴょんぴょん	<p><目的> 地域で活動できる場所・サークルなどの情報提供も行い、安心して子育てができる基盤作りをしていきます。</p> <p>①子育てをする親の交流の場とし、親のネットワーク作りの支援をします。 ②子育てに関する相談事業を展開し、親の精神的な支援をします。</p>	<p>毎月第2水曜日</p> <p>12回実施予定</p>

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
1歳児親子学級 「すずめ」	<p><目的> あそび隊の協力により遊びや講師を交えて親と子の関わり方を学習し、地域で活動できる場所・サークルなどの情報提供も行き、安心して楽しく子育てができる基盤作りをしていきます。 ①子育てをする親の交流の場、親のネットワーク作りの支援をします。 ②子育てに関する相談事業を展開し、親の精神的な支援をします。</p>	<p>5月12日～7月14日</p> <p>8回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てまち育て塾「ひろば」	<p><目的> 地域で活動できる場所・サークルなどの情報提供も行き、安心して子育てができる基盤作りをしていきます。 ①子育てをする親の交流の場とし、親のネットワーク作りの支援をします。 ②子育てに関する相談事業を展開し、親の精神的な支援をします。</p> <p><内容> 未就学児とその親が集まるサロンを行います。</p>	<p>第4木曜日</p> <p>18回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あそびにおいでよ!七夕まつり	<p><目的> ①子育て支援 ②地域の子どもたちと保育園児の交流</p> <p><内容> 港南中央公園にて、行政・地域・保育園が一緒になり、地域の親子・園児とともに七夕祭りを行います。</p>	<p>7月6日</p> <p>1回実施</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
支えあいネットワーク	<p><目的> 自分たちが住んでいる地域を住みやすい、助け合いの街にすることが目的です。</p> <p><内容> 地域の保健・福祉活動との一体的なサービスの提供、地域の共通した認識によって協働して行動できるよう、地域の福祉保健の関係者（医師、薬剤師、介護支援専門員、民生委員、友愛活動推進員、保健活動推進員、ボランティア団体、区役所、区社協、ケアプラザ等）、地域住民が話し合いに参加します。</p>	<p>不定期</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康教室	<p><目的> 地域住民に病気についての理解を深めてもらい、日常の健康維持・管理に役立ててもらいます。</p> <p><内容> 南部病院の各科の医師に講師をお願いし、毎月異なる科の講義を聴くことができます。病気の治療法から病気と上手につきあう方法など様々な内容を聴くことができます</p>	<p>毎月第3土曜日 (1・8月除く)</p> <p>10回実施</p>

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歯のほのぼの相談室	<p><目的> 口腔内において疾患が発病する前の予防レベル段階を対象とした歯科保健指導を地域住民に普及する場を目指します。 ①地域保健事業の一貫として、口腔内疾患予防の普及を目指します。 ②各年齢層における歯科保健指導活動によって、「一生を通じて自分の歯で食べることができる」健康で明るい生活を営むことを目指します。</p> <p><内容> 個別相談を行います。歯のブラッシング指導もあります。</p>	<p>毎月第1, 2, 4 月曜日</p> <p>30回実施予定</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
無料健康相談	<p><目的> 地域住民に健康についての疑問や不安を解消してもらい、日常の健康維持・管理に役立ててもらいます。</p> <p><内容> ケアプラザ協力医師に協力をお願いし、健康についての疑問や不安を相談することができます。病気や健康維持についてのアドバイスをもらう事ができます。</p>	<p>毎月第1・2・3 火曜日</p> <p>36回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食事のなんでも相談	<p><目的> 地域住民に食事や栄養についての疑問や不安を解消してもらい、日常の健康維持・管理に役立ててもらいます。</p> <p><内容> 地域の管理栄養士に協力をお願いし、食事や栄養についての疑問や不安を相談することができます。食事や栄養についてのアドバイスをもらう事ができます。</p>	<p>毎月第2木曜日</p> <p>12回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性の料理教室	<p><目的> 団塊の世代の方を対象に地域への社会参加を目指します。また、ボランティア育成の機会となるよう地域への参加を呼びかけます。</p> <p>①中高年男性に地域での仲間作りを支援します。 ②地域活動を知ってもらうきっかけ作りを支援します。</p> <p><内容> お昼ご飯の献立を一緒に作り、試食します。 慣れてきた参加者とともに、高齢者サロン「みち草」、ミニデーサービス「ぺんぺん草」の昼食を作り、大好評でした。今後も継続予定です。</p>	<p>偶数月第4土曜日 (4月を除く)</p> <p>5回実施予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チャレンジ☆男性のパン教室	<p><目的> 団塊の世代の男性を対象に、地域活動へ参加するきっかけの講座として実施します。 また、ボランティア育成の機会となるように地域への参加を呼びかけます。</p> <p>①中高年男性に地域での仲間作りを支援します。 ②中高年男性に地域活動を知ってもらうきっかけ作りを支援します。</p> <p><内容> 中高年の男性が、パン材料の計量から、こね、焼くところまで一人ずつ行います。</p>	<p>奇数月第2日曜日</p> <p>6回実施予定</p>

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
港南台防災を考える会	<p><目的> 地域住民と福祉施設が自分たちの地域の事を知ることで地域で災害に備え、日頃から助け合える地域にする。</p> <p><内容> 地域住民と施設職員が集い、地域の防災・減災(災害対策)について意見(情報)交換を行う。</p>	奇数月第1火曜日 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p><目的> ボランティア活動についての情報交換をし、意見交換などを通してボランティア同士の親睦を深めることで活動の幅(裾野)を広げる。</p> <p><内容> 日頃のボランティア活動についての感謝を伝え、ボランティア活動についての情報提供を行い、意見交換を行うことでボランティア同士の親睦を深めるとともにボランティアからの意見や要望の収集を行う。</p>	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
タッチケア講習会	<p><目的> 親子の触れ合い(タッチケア)を通して親子の絆を深める。</p> <p><内容> タッチケアを通して日頃からの親子の触れ合いの機会を増やし、親子で心身ともに落ち着く方法を学びます。</p>	未定 2回実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	<p><目的> 横浜市が実施する「よこはまシニアボランティアポイント事業」の登録研修会を受講して、ボランティア活動を推進します。</p> <p><内容> 65歳以上の横浜市民が受講して、登録された方にポイントカードが発行されます。受入施設でボランティア活動を行うとポイントがたまり、換金や寄付ができます。</p>	未定 1回実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガイドボランティア養成講座	<p><目的> 障がい者の社会参加のための外出時の付き添いを行うボランティアを育成します。</p> <p><内容> 障がい児者余暇支援事業に参加しながら、安全に付き添いをして頂くことで安定した事業を継続します。</p>	未定 1回実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自然講座	<p><目的> 地域の自然を知ることによって地域への愛着を深める。</p> <p><内容> 地域の自然に関するパネル展を行います。また地域の自然講座を開催します。</p>	未定 1回実施予定

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい理解講座	<p><目的> 地域で暮らす障がい者を講師に迎えて、障害の有無に関わらず地域で何ができるかを考えます。</p> <p><内容> 社会モデルで捉えた障害の考え方を推進するとともに合理的配慮の提供に努めます。</p>	未定 1回実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもしろ工作教室	<p><目的> 地域で暮らす未就学児、小学生に気軽に来所できる施設の環境づくりに努めます。</p> <p><内容> 夏休み特別企画として工作教室を開催します。</p>	未定 1回実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
住民支えあいマップ	<p><目的> 住民支えあいマップの取組を必要な自治会や地域で継続的に支援できるように努めます。</p> <p><内容> 地域の助け合いの実態を地図に記入していき、ご近所同士で助け合えるよう取組を支援します。</p>	3ヶ月に1回 年4回実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたカフェ	<p><目的> 地域で暮らす高齢者に唄を歌って健康推進の環境づくりに努めます。</p> <p><内容> 歌声サロンを定期的に開催します。</p>	3ヶ月に1回 年4回実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども食堂	<p><目的> 地域で暮らす小学生から高校生を対象に、貧困児童の解消に向けて、地域の支援団体と協働して取り組めるよ努めます。</p> <p><内容> こども食堂を定期的に開催します。</p>	毎月第1金曜日 年11回実施予定（5月から）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多文化を考える会	<p><目的> 地域で暮らす外国籍の子育て世代が安心して暮らせるように地域支援ネットワークづくりに努めます。</p> <p><内容> 話し合いを重ねてネットワークづくりや居場所づくりに取り組みます。</p>	未定 年10回実施予定

平成28年度 自主事業計画書

横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症 家族のつどい	<p><目的>高齢者虐待防止</p> <p><内容>認知症の方や家族が相談でき、お互いの悩みを共感し情報交換できる場の設定</p>	奇数月第3木曜日 年6回実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p><目的>介護者同士がつどうことで不安や孤立感を解消し、介護環境の改善や虐待の防止を図る</p> <p><内容>情報提供や情報交換や悩み、苦しみの共有、癒しのプログラム</p>	偶数月第2金曜日 6回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おひとりさまの会	<p><目的>独居高齢者の孤独死・孤立死を防ぎ、最後まで自立した生活を送るための学びや啓発の会</p> <p><内容>各種制度や資源を学ぶことで、絆やつながりを持てるようにする。</p>	奇数月 第四水曜日 年6回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p><目的>認知症になっても年をとっても安心して暮らせる街をつくるため、サポーター（応援者）を養成する。</p> <p><内容>認知症を正しく理解し、認知症の方と家族を温かく見守り、自分で出来る範囲で支援して下さる方への認知症講座の開催</p>	不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談会	<p><目的>地域の相談窓口である地域包括支援センターの周知と、気軽に相談できる関係づくり</p> <p><内容>介護保険の代行申請の他、さまざまな相談への対処。地域の方との交流を図り地域情報を得る。</p>	<p>・日野町内会館 偶数月第二土曜・蓬莱荘 毎月第一水曜 (区社福祉分科会にて輪番で実施)</p>

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
法テラス無料法律相談会	<p><目的>地域の高齢者や障がい者を対象に法律的な問題などの疑問や不安を解消を目的としています。</p> <p><内容>弁護士による個別相談。</p>	H28年6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お〜い、らくかい	<p><目的>脳と身体を同時に使うことで認知症予防と介護予防を図る。男性限定とすることで、男性が参加しやすい環境を作る。</p> <p><内容>参加者同士で話し合っ決めて年間計画に基づき、ウォーキングや料理等を実施する。</p>	毎月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	<p><目的>ケアマネジャーが気軽に相談したり勉強できる場の提供</p> <p><内容>ゲストを呼んでのミニ勉強会と意見交換会（テーマ：社協の役割、高齢期の住まい、葬儀とお墓、認定調査、課題整理表、緊急通報システム、他）</p>	1月と8月を除く毎月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジメン ト初級講座	<p><目的>ケアマネジャーとして実務を行う上での基本姿勢や、介護保険制度の基本理念である利用者本位のケアプラン作成に必要な知識と考え方を学びます。</p> <p><内容>法令、ケアマネの倫理綱領、対人援助のインターク、思考プロセス、事例検討、サービス担当者会議の開き方、行政サービス</p>	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中級ケアマネジ メント講座	<p><目的>解決思考アプローチの技法を学び、アセスメント時に家族介護者への支援を考えることができる視点を学ぶ。</p> <p><内容>講座「高齢者と家族のための面接技法」</p>	7月22日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任・就労予定 ケアマネのため の施設見学会	<p><目的>実際のサービス内容などを見学する機会をもち、業務にいかす。</p> <p><内容>3コース実施。①消費者センター、住まいの相談センター ②老健、精神科病院 ③特養、小規模多機能、サービス付高齢者向け住宅</p>	5/19、5/23、5/30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医福ネット港南	<p><目的>在宅医療に関する情報交換を行い、各自の啓発と多職種間の連携強化を図る。</p> <p><内容>医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、サービス提供事業所等の多職種が参加し、講座、事例検討、懇親会を行う。</p>	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
語る会	<p><目的>担当地域内の居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションが在宅医療専門クリニックで日頃の悩みや疑問について気楽に話し合う場を提供する。</p> <p><内容>テーマを決めて意見交換を行う。</p>	隔月

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
D r とケアマネの相談タイム	<p><目的>地域のドクターとケアマネジャーの連携がスムーズに取れるように場を提供する。</p> <p><内容>希望があれば主任ケアマネジャーがD r と日程を調整し、ケアマネジャーとD r が面談する場を作る。</p>	必要時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かもめプロジェクト	<p><目的>住民同士が知り合う機会を作り、交流を図る。将来的な担い手になれる人材を発掘する。</p> <p><内容>自治会、シルバー会、民生委員、区社会福祉協議会、福祉保健センター、ケアプラザの共催で、カフェや夏まつりを開催する</p>	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ向け医療との連携講座	<p><目的>ケアマネジャーが多職種と気軽に意見交換を行い、お互いの業務を知った上で適切な役割分担を出来るようになる。</p> <p><内容>多職種事例検討会</p>	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つぐみ元気いきいきクラブ	<p><目的>いつまでも自分の足で歩けるようにストレッチ中心の体操を行います。また、頭と身体を使って認知症の予防を図ります。</p> <p><内容>ストレッチ中心の体操を行いながら、認知症予防のゲームを取り入れ、脳の活性化を図ります。（こうなんいきいき応援事業）</p>	毎月第2,4月曜日